

元総社地区 地域づくり協議会だより

○ 発行 会長 岡田 穆
○ 編集 広報委員会
○ 事務局 元総社公民館
Tel 251-2243

第3号 2013年(平成25年)3月 発行

連携し支え合う元総社

地域づくり協議会

会長 岡田 穆



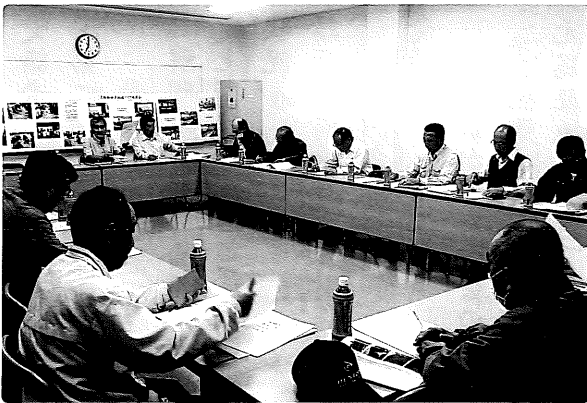
元総社地区の地域づくりは、地区に住む人々の支え合いを強くし、自治会や各種団体、ボランティアの皆さんの市民活動の連携を深めて、元総社地域をより良くするための活動に取り組むことを目標として、平成二十年度にモデル地区に指定され、二十一年度に協議会を設立しました。

年々その活動は活発になり、平成二十四年度も地域の皆さま

んにより三部会でテーマごとに公民館に集まり活発な話し合いを行い、現場での実践活動、調査、視察などを行いました。

その活動状況をこの「協議会だより」に「まとめましたので、これを参考にしていただき、元総社地区の皆さんが、交流を深め、連携し、支えあってより良い地区にするため、これからも皆さんと共に明るく元気に活動して参りたいと考えております。

どうかよろしくお願い申し上げます。



◎ 栃木市地域まちづくり

検討委員会が来訪

視察日平成二十四年十一月十九日

(月曜日)



現在の栃木県栃木市は、平成二十二年度と二十三年度に旧栃木市と周辺四町が合併して誕生しました。

地域まちづくり検討委員会では、身近な地域課題の解決や地域資源を活かしたまちづくりの調査研究のため、メンバー二十一名が来訪し、元総社地域づくり協議会の岡田会長以下自治会長全員で意見交換しました。

歴史と伝統・

環境保護部会

部会長 平山聖隆

「歴史と伝統・環境保護部会」では、企画委員十九名の協議により、平成二十四年度事業を次のとおり実施しました。

一 元総社郷土（歴史）資料館（仮称）建設推進のため・先進地視察

平成二十四年十月十一日（木）

栃木県栃木市「下野国庁跡」

「下野国庁跡資料館」

栃木県下野市「しもつけ風土記の丘資料館」

「下野国分（僧寺）寺跡」

参加者・企画委員・自治会長



・公民館担当職員

古墳や寺院、国府跡など、栃木県の古代文化発祥に関わる数多くの史跡が残されていて、元総社地区に類似しています。

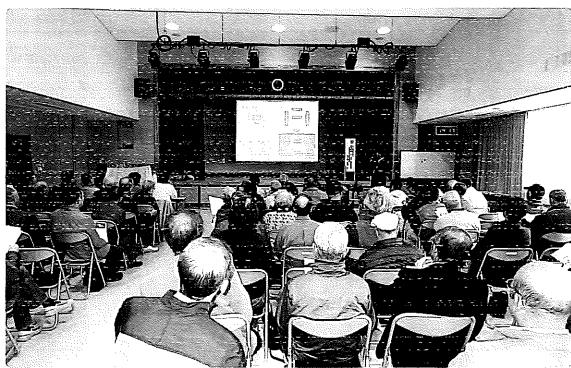
二 「元総社の歴史を語る公開講座」の開催

・第一回

平成二十四年十一月十七日（土）

「国華」国分寺の歴史と史跡国分寺跡

講師 群馬県文化財保護課 文学博士 高島英之先生



受講者 九十四名

・第二回

平成二十四年十二月一日（土）

「解明」古代群馬の中心「推定上野国府跡」と最近の調査状況

講師 前橋市文化財保護課

阿久澤 智和 先生

受講者 八十二名

三 元総社かるた大会の開催

平成二十五年二月二十四日（日）

元総社地区十三自治会から二十チーム六十名の選手が参加しました。

役員・応援者を含めて百余名、公民館ホールは熱気に溢れていました。

優勝 (七区チーム)

準優勝 (四区Bチーム)

三位 (十区Aチーム)

三位 (十区Bチーム)

四 「元総社地区歴史文化財巡り」ウォークラリーの開催

平成二十五年三月二十三日（土）

コースは元総社七・八・九区の歴史文化財を巡る約三・七キロ

口です。

結びに、山本龍市長に元総社公民館隣接地に郷土資料館建設をお願いに伺いました。

回答は、「蒼海地区の発掘調査で国庁跡が発掘されたら、そこを広い史跡公園にし、資料館も造らなければならぬので調査の進展を見て考える。

公民館隣接の区画整理換地用地は、公民館利用者が使用できるよう確保する。」とのこと。

現在は、碎石が敷かれ駐車場や催物に利用できるよう整備されています。

一歩前進したことを報告致します。



安全安心な暮らし

づくり部会

部会長 宮田正憲

一 平成二十四年度の活動指針

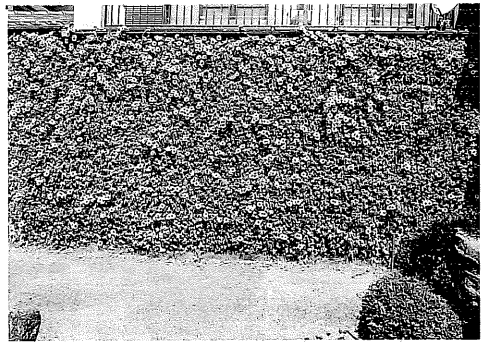
(一) 自主防災組織の構築

・地域住民の防災意識の高揚を図るため、元総社地区全体で防災訓練を行う。

・青色パトロール隊の活動を引き続き支援するとともに隊員増強のための働きかけを進めていく。

(二) グリーンカーテンコンテスト

安全安心な暮らしづくりの一環として、節電意識の高揚を図り地球環境を守る必要もあることから、初の試みとしてグリーンカーテンを推進しコンテストを実施する。



部会では、各地区でできた自主防災組織が機能を発揮できるように基礎的な訓練を学び、防災リーダーの育成を図る事を目的に防災訓練を実施する事とした。

訓練内容の事前打ち合わせと共に公民館の地域づくり講座とも連携し防災知識を高めると同時にいざという時役に立つ初期的な訓練を行う事とした。

また、青色パトロール隊については引き続き隊員増強を各地区に呼びかけ、他の地区より犯罪は少ない等をアピールし

理解を求めてゆく事とする。

震災後、原子力発電の停止等で節電・省エネが必要性を帯びている中で各家庭でも出来る節電対策としてグリーンカーテンの設置を呼びかけ同時にコンテストも行う事とした。

二 活動報告

(一) 地域づくり講座

一回 十一月二日

住宅の防災初期消火活動

二回 十一月十三日

応急手当AEDの使い方

三回 十一月十九日

防災対策と防災知識を高める

(二) 防災訓練

実施日 十一月二十五日(日)

訓練内容

救護・救出・初期消火

簡易水防・炊き出し

参加人員 約二百人

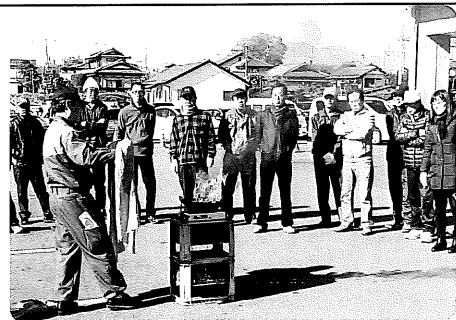
訓練協力者

前橋市危機管理室

前橋市西分署

消防団第五分団

前橋警察署 女性防火クラブ



各地区から十人以上の参加を頂き、講座で事前知識を学び、訓練当日は好天にも恵まれ、各科目毎に真剣に取り組んで頂きました。

参加者が各地区に戻り、防災リーダーとして、知識を役立てて下され自主防災組織での活躍をお願いします。また、防災訓練は継続して行く事が大事ですので、これかも計画して行きたいと思えます。

以上、活動状況を報告し、今年度の活動を終了させて頂いたできます。

交流の場づくり部会

部長 澤野隆洋

地域づくり第三部会では、平成二十四年度の目標として、次の二つを掲げて取り組みました。

一 お年寄りの元気な活動を支えるための情報交換。

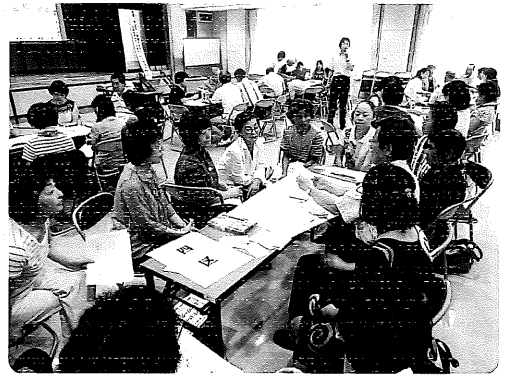
① ふれあいいきいきサロン

サロンをよりよくするために情報交換を蜜にして、相互の交流を深めること。

② ふれあい介護会食を活用してサロンの活動を強化すること。

二 三世代交流グラウンドゴルフ全地域が参加する元総社地区三世代グラウンドゴルフ大会の開催

まず、いきいきふれあいサロンについては各地域での開催が定着しそれぞれの担い手の皆さんの創意工夫で、地域の特徴を活かしたサロンが開催さ



れるようになりました。

そこで、更によりよいサロンにする為に、外部の専門家のお話を聞いて参考とすることにしました。

市社会福祉協議会とも相談して、高崎健康福祉大学の金井敏教授をお招きし、いきいきサロンの担い手の皆さんを対象に講演会とワークショップを開催しました。

講演会七月二十日(金)開催
・テーマ よりよいサロンにするために

当日は、民生委員、保健推進員をはじめ、各地域でご苦勞さ

れている担い手の皆さん約一〇〇名が参加しました。

・ワークショップ

八月二十四日(金)

当日は、各地域のサロンごとに分かれて意見を交換し、それぞれのサロンのよい点や改善をした方がよいと思われる項目について討論をし、意見をまとめて発表しました。

参加者は八十八名でした。

サロンに関しては、今回の講演会を聞いて参考になった事項を活用しながら、さらに、レベルを上げる方向で、各地域で取り組んでもらうことになっています。

三世代グラウンドゴルフ大会の開催に関しては、平成二十三年度にその開催について各地域の意見がまとまっていたので、実際の開催に際しては、ご苦勞を頂く体育推進委員の年間行事との兼ね合いで、日程を調整し、六月二十四日に元総社北小学校の校庭で盛大に

開催されました。

各地域やお年寄りだけの大会は頻繁に開催されていますが、元総社地域での三世代での開催は初めてでしたが、好天にも恵まれ、和やかな内にも真剣さが加って、素晴らしい大会となりました。今回の大会を経験し、改良すべき点は改めて、この大会が地域の交流・親睦のために、毎年開催されるようにしていきたいと考えています。

平成二十五年度の開催については、館報を通じてお知らせする予定です。

